

ジアナミックス®注射液

DIAINAMIX Injections

〔チアミンジスルフィド・ピリドキシン塩酸塩・
ヒドロキシコバラミン酢酸塩注射液〕

規 制 区 分
処方箋医薬品（注意—医師等の 処方箋により使用すること）

貯 法	遮光、25℃以下で保存
使用期限	外箱、アンプルに表示

承認番号	16300AMZ01038000
薬価収載	1990年7月
販売開始	1990年7月

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

本剤及びチアミンジスルフィドに対し過敏症の既往
歴のある患者

【組成・性状】

組 成

ジアナミックス注射液は1管（10mL）中、下記の成分を含有す
る。

チアミンジスルフィド	50mg
ピリドキシン塩酸塩	100mg
ヒドロキシコバラミン酢酸塩	1.04mg
（ヒドロキシコバラミンとして1mg）	

添加物：塩酸（適量）、水酸化ナトリウム、塩化ナトリウム

製剤の性状

本剤は褐色透明なアンプルに入った淡紅色澄明の注射液で、そのpH
は3.0～5.0、浸透圧比は約1である。（ただし生理食塩水の浸透圧を
1とする）

本剤は光によって徐々に変化する。

【効能・効果】

- 本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事から
の摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授
乳婦など）
- 下記疾患のうち、本剤に含まれるビタミン類の欠乏又
は代謝障害が関与すると推定される場合
 - 神経痛
 - 筋肉痛・関節痛
 - 末梢神経炎・末梢神経麻痺
- の効能・効果に対して効果がないのに月余にわたっ
て漫然と使用すべきでない。

【用法・用量】

通常成人1日1回10mLを緩徐に静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

（1）相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
レボドパ	レボドパの有効性を 減じることがある。	ピリドキシン塩酸塩 がレボドパの脱炭酸 化を促進し、脳内作 用部位への到達量を 減少させる。

（2）副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる
調査を実施していない。

1）重大な副作用

※※**ショック、アナフィラキシー様症状**（頻度不明）：シ
ョック、**アナフィラキシー様症状**を起こすことがあ
るので、全身皮膚潮紅、**そう痒感**、**血圧低下**、**胸内
苦悶**、**呼吸困難**、**痙攣**等があらわれた場合には、直
ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2）その他の副作用

	頻 度 不 明
過敏症 ^{注)}	発疹、そう痒感
消化器	悪心・嘔吐
投与部位	局所疼痛

注)このような症状があらわれた場合には、投与を中止
すること。

（3）妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には治療上
の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投
与すること。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立して
いない。〕
- 授乳婦に投与する場合には授乳を中止させること。
〔授乳中の投与に関する安全性は確立していない。〕

（4）小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する
安全性は確立していない。

（5）適用上の注意

- ※1）**調製時**：本剤は、アミノ酸製剤と混合した場合、ビ
タミンの分解が促進されることがあるので注意するこ
と。
- 2）**注射速度**：静脈内投与により血管痛を起こすことが
あるので、注射速度はできるだけ遅くすること。
- 3）**アンプルカット時**：ワンポイントアンプルには小さ
な傷の位置を示すため丸印のマークをつけてあるので、
アンプルカット直前にエタノールなどでよくふいたの
ち丸印マークを上にして両側にひっぱるように下に折
り曲げ、カットする。（ヤスリは不要である。）

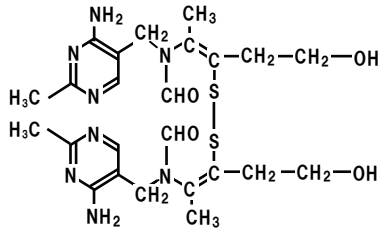
【薬効薬理】

- 脛骨神経切断後縫合を行ったネコで、腓腹筋の張力の回復を促進
し、この作用はVB₁、VB₆、VB₁₂の単独投与より強い。
- アクリルアミド投与ラットおよびアロキサン投与高血糖ラットで
末梢神経伝導速度の低下を軽減し、また、低下した伝導速度の回
復を促進する。
- 坐骨神経圧挫ラットで足指の麻痺回復を促進し、支配筋の萎縮に
対しても抑制作用を示す。これらの効果は各ビタミンの単独投与
より優っている。

【有効成分に関する理化学的知見】

(1) 一般名：チアミンジスルフィド (Thiamine Disulfide)

構造式：



化学名：N, N'-[Dithiobis[2-(2-hydroxyethyl)-1-methyl-2,1-ethenediyl]]bis{N-[(4-amino-2-methyl-5-pyrimidinyl)methyl]formamide}

分子式：C₂₄H₃₄N₈O₄S₂

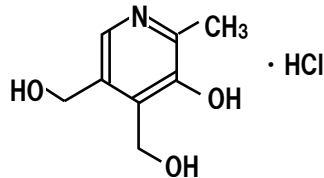
分子量：562.71

性状：チアミンジスルフィドは白色～淡黄白色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがあり、味はわずかに苦い。

エタノール(95)に溶けにくく、水又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。希塩酸又は希硝酸に溶ける。本品の飽和水溶液はほぼ中性である。

(2) 一般名：ピリドキシン塩酸塩 (Pyridoxine Hydrochloride)

構造式：



化学名：4,5-Bis(hydroxymethyl)-2-methylpyridine-3-ol monohydrochloride

分子式：C₈H₁₁NO₃ · HCl

分子量：205.64

pH：本品 1.0g を水 50mL に溶かした液の pH は 2.5～3.5 である。

性状：ピリドキシン塩酸塩は白色～微黄色の結晶性の粉末である。

水に溶けやすく、エタノール(99.5)に溶けにくく、無水酢酸、酢酸(100)にほとんど溶けない。

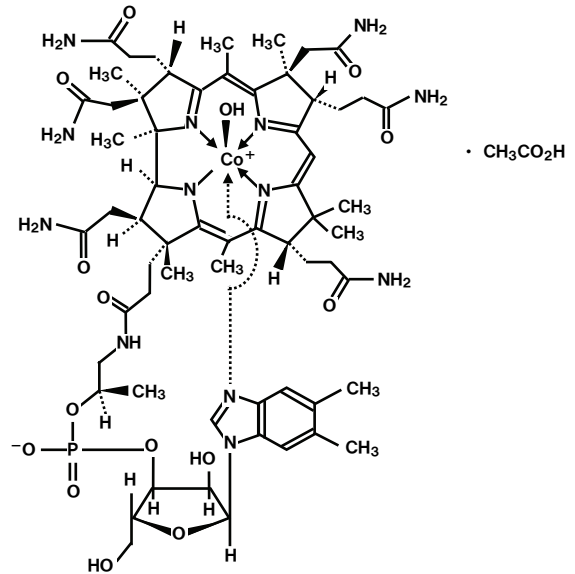
光によって徐々に変化する。

融点：約 206℃ (分解)

(3) 一般名：ヒドロキソコバラミン酢酸塩

(Hydroxocobalamin Acetate)

構造式：



化学名：Co α-[α-(5,6-Dimethylbenz-1H-imidazol-1-yl)]-Co β-hydroxocobamide monoacetate

分子式：C₆₂H₈₉CoN₁₃O₁₅P · C₂H₄O₂

分子量：1406.41

性状：ヒドロキソコバラミン酢酸塩は暗赤色の結晶又は粉末で、においはない。

水に溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は吸湿性である。

【取扱い上の注意】

安定性試験¹⁾

最終包装製品を用いた長期保存試験 (遮光、25℃以下で保存、1.5年) の結果、ジアイナミックス注射液は通常の市場流通下において 1.5 年間安定であることが確認された。

【包装】

50 管

【主要文献】

1) 鶴原製薬株式会社 社内資料

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

鶴原製薬株式会社 医薬情報部

〒 563-0036 大阪府池田市豊島北 1 丁目 1 6 番 1 号

TEL : 072-761-1456 (代表) FAX : 072-760-5252



製造販売元
鶴原製薬株式会社

大阪府池田市豊島北 1 丁目 16 番 1 号

TD1-100 17-1501
A501-S

